

つぎの文しようを読んで もんだいに
こた 答えましょう。

三年

組名前()

たがいに 知らない 世界の 話は
せかいのはなし

ふしきで、だから よけいに 美しく思え、
うつくしおも

それは 胸の ときめく ものでした。

空と 海とで 星と クラゲは、ずっと
うみほし

おしゃべりをかわしました。ちっぽけな
おしゃべり

クラゲに とつては、まるで 夢のような
ゆめ

いちや
一夜でした。

やがて 夜明けが 近く なり、星は
よあちか

かすんで きました。クラゲが 星に た
こなめ

ずねます。

「今夜も また 会えますか」

「わたしは ほうき星。今夜は ここをと
こなや

おりません。何百年か たてば、とおるか
なんびやくねん

も しれません」

「じゃあ、その ときには また、おしゃ
あ

べりを して くれますか」

「もちろんです。ああ、さびしい 旅だけ
たの

れど、楽しみに する ことが できたな
たの

あ」 クラゲは それを 聞くと、胸が いっぱ
きむね

いになつて しました。

(安東 みきえ「星につたえて」)

できだと 思つた。

に

する ことが

旅は

けれど、

① 「おしゃべり」は クラゲと 星に
とつて どのような もの でした
か。

つぎに クラゲが 星に 会えるの
は いつですか。

ように 思いましたか。

② また、おしゃべりを して くれ
ますか」と 言われた 星は、どの
たつてから。

③ つぎに クラゲが 星に 会えるの
は いつですか。

()

胸が

もの。

④ 「おしゃべり」は クラゲと 星に
とつて どのような もの でした
か。